

第2号様式

会 議 議 事 録

1 会議名	第2回長岡市入札・契約制度に関する検討委員会
2 開催日時	平成31年3月19日（火曜日） 午後4時から午後5時45分まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	(委員) 沢田委員長 鯉江委員 櫻井委員 中村委員 並木委員 (事務局) 大滝総務部長、武士俣契約検査課長ほか関係職員
5 欠席者名	なし
6 議題	1 開会 2 討議 3 今後のスケジュール 4 閉会
7 会議資料	別添のとおり
8 議事概要	別添のとおり

第2回長岡市入札・契約制度に関する検討委員会 議事概要

- ・前回の委員会の意見等を受け、概ね過去10年間の最低制限価格での落札状況、予定価格等の公表や指名停止等に関する他市との状況比較などについて、事務局が説明を行い、質疑も含めて現状認識が共有された。
- ・本市の入札に最低制限価格と同額の落札件数が多数あることに対し、事業者の中には頻繁に過去の工事の設計書の閲覧等に訪れ、相当の量の設計書を研究しており、そうした努力の成果として、市の設計書から予定価格や最低制限価格を容易に推測できる状態にあると考えている旨の説明が市側からあった。
これに関し、どのような業者が情報公開請求しているか等の実態を知りたいとの要望があった。
また、市の説明どおり最低制限価格を推測できるならば、狙いすぎて下回ってしまう業者もいるのではないかという意見があり、市側から、ご指摘のように下回ってしまう業者がいて、最低制限価格と同額の応札があった入札の約9割で、1件当たり平均4から6社下回っている状況である。という回答があった。
- ・市側が、予定価格や最低制限価格を容易に推測できる状態にあると言うのであれば、最低制限価格を上回った件数、一致した件数、下回った件数を工事種別ごとにまとめて確認させてほしいという要望があった。
- ・事前に最低制限価格を設定せず、応札の平均額に一定の係数を乗じて、その額を最低制限価格としている入札方法もあるので、長岡市も同様の方法で、最低制限価格を試算してほしいという意見があった。
- ・事業者の意見や要望を無視した制度ではいずれ抜け駆けをする事業者が出てくると思われることなどから、今後、入札制度を検討するうえで、事業者アンケートも必要な調査と考えるため実施したいという意見があった。